



11月も半ばを過ぎると、急に冷え込んできました。子ども達も「手が冷たいね」「今日は寒いね」など、秋から冬への季節の移り変わりを体感しているようです。寒暖差が大きいことで体調管理が大変ですが、元気いっぱい遊べるように「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけていきましょう。

保育公開・PTA 研修会を行いました

10日（金）には保育公開にお出かけいただきありがとうございました。各クラスとも、今楽しんでいる遊びをおうちの人に見てもらいたい気持ちが一杯で、この日をとても楽しみにしていました。ごっこ遊びを楽しんでいる年少児は、おうちの人にお客さんになってもらってやりとりを楽しんでいました。忍者のイメージで遊んでいる年中児は、忍者に変身して動いたり、跳んだり登ったりの「修行」をしたり、隠れ家から出てきて忍者の踊りをしたりしました。自分達の遊びを楽しみながらもおうちの人に見てもらおう嬉しさも味わっていました。宇宙探検の遊びをしている年長児は、自分達で考えて作った宇宙迷路やロケットで遊びながら、よく飛ぶにはどうしたらいいかななど試行錯誤しながら楽しんでいました。いろいろな考えやアイデアをおうちの人に見てもらったり聞いてもらったりして満足感を感じていたようです。

PTA 研修会は『親学』を計画し、「もし、子どもが〇〇で育ったら」というテーマで少人数でグループワーク形式で行いました。最初は「どんなことをされるんだろう・・・」と多少の緊張感を感じられていたようですが、講師の方の明るい語りかけや小グループということもあって、どんどん思いを出し合う姿が見られました。「出された話を否定しない」「うんうんと、うなづいて聴く」等の助言により、とても良い雰囲気ของกลุ่มワークとなったように思います。後日、「自分だけが子育てで悩んでいるんじゃないとわかって少し気が楽になった」「普段、顔を合わせるだけの方ともお話ができてよかった」「家庭でのかかわりを見直すきっかけとなった」など、たくさんの感想をいただきました。いろいろなことを感じたり学んだりするひと時だったようです。



年長児が東太鼓に挑戦

10月の誕生会に、東太鼓の演奏を聴いたり、実際に太鼓を叩かせてもらう体験をしました。その太鼓の響きや楽しさに心を奪われた年長児は、2回目の東太鼓体験をすることになりました。旧東小学校体育館へ出かけると、太鼓の先生の濱村さんが太鼓の準備をして待っててくださいました。この前は順番に少しずつしか叩けませんでした。この日は大きな太鼓が一人1台ずつあります。みんなの目が輝きました。まずは良い音が出るように、ウォーミングアップで太鼓の音に合わせて体育館を走りました。体が少し温まったところで、自分の好きな太鼓（といっても同じ大きさのものですが・・・）の前へ立ち、バチの持ち方や「構え」を教えてくださいました。この「構え」が結構難しく、「太鼓の真ん中に立ち、1で左足を横へ開く」「2で右足を斜め後ろへ下げる」「3で両手を真上にあげて、ヤー！！」という一連の動きに苦戦していましたが、繰り返すうちに自分でできるようになりました。最初は好き好きに叩いていましたが、先生の合図に合わせて、右・左・右・左・・・とだんだん合わせて叩けるようになってきました。太鼓に慣れてきた頃、リズム打ちにも挑戦しました。先生の「1・・・」「2・・・」や「1・」「2・」「1・」「2・」という声に合わせて叩くのがなかなか難しく、先生のお手本を見て、耳で声を聞いて叩かないとできないので、集中力が高まってきます。いろいろなリズムを叩いて、最後には「ヤー！！」とかけ声を出してポーズをとることもできましたよ。最後は、大きな大太鼓や竹太鼓など、いろいろな太鼓を叩かせてもらって、大満足の年長児でした。

太鼓の楽しさはもちろんですが、よい姿勢で挨拶をすること・太鼓やバチは大切に扱うことなど、基本的な礼儀も教えていただき、それが太鼓に向かう時の子ども達の真剣なまなざしや、ピンと背筋が伸びるような空気感につながったと思います。

太鼓体験が終わり、バスで帰ってきた長児を見た年中児が、「いいなあ、ぼくもやりたいなあ・・・」とつぶやいていました。この憧れの気持ちが、いろいろな意欲となって表われることでしょう。



収穫祭をしました

今年も春から、田んぼや畑でいろいろな作物を育てたり収穫をしたりしました。特に秋は、田んぼでの稲刈り体験、畑でのサツマイモ掘り、大根や水菜を収穫したりしたので、その収穫を祝って収穫祭を17日（金）に行いました。昨年まではコロナ禍の影響で、職員がすべて調理していましたが、今は気を付ける点も分かってきたので、感染対策を講じながら園児も一部クッキングに参加することにしました。朝からエプロンをつけた子ども達はワクワク気分。年少児はサツマイモ洗い、年中児は人参の皮むき、年長児は大根切りをしました。自分達が洗ったり切ったりした野菜を調理室の先生に「お願いします」と渡し、後は美味しく出来上がるのを楽しみに待ちました。

11時過ぎから収穫祭をはじめました。畑の先生のお二人、運営協議会の皆さんをご招待し、みんなで収穫を喜び合ったり、お世話になったお礼の気持ちを込めて言葉や歌を歌ったりしました。その後は、いよいよ会食です。昨年まではクラスごとに会食をしていましたが、今年はオリエンテーリングのグループで食べることにしました。一人一台の机を円形に配置すると、結構人との距離がとれたので、久しぶりにみんなが遊戯室に集い、賑やかに和やかに会食をしました。メニューは『豚汁』『わかめご飯』『大根と水菜のサラダ』です。「これ、私が切った大根かな?」「ぼくの掘ったお芋が入ってる」など、笑顔いっぱいたくさん食べましたよ。

会食の後、別室で第2回運営協議会を行いました。二学期の子どもたちの様子を話したり、今日の会食のことを話題にしたりしました。「一緒にグループで食べた子どもから、来てくれてありがとうって言われて嬉しかった」「年上の子どもが、年少さんにさりげなく優しくしていて感動した」「オリエンテーリングを三回行ったと聞いて、丁寧に子ども達に関わっておられる様子が伝わった」など、褒めていただきましたよ。



「おいもさん、きれいになーれ」年少児



「人参の皮むき、初めて」「上手だね」年中児



「ネコさんの手で大根を押さえて・・・」年長児



収穫祭が始まるよ！お礼の言葉を言う年長児



会食「美味しいね」「おかわりもするよ」

クラスの遊びの楽しさがアッスしています

前回の園長だよりで、各クラスの遊びの様子をお伝えしました。運動会や遠足を終えて、新たな環境やイメージをプラスして、これから遊びが楽しくなっていくところでした。それから今日まで、子ども達は毎日繰り返しごっこ遊びをしたり、忍者の遊びの修行が増えていたり、宇宙探検の遊びでロケットがどうやったらねらったところへ飛ぶかなどを考えたり・・・。それぞれの遊びや年齢の発達によって、遊びがより面白くなったり、広がったりしています。子ども達は、遊びが面白ければ毎日繰り返し遊びます。でも、昨日も今日も明日も同じ環境では、面白くなくなって遊びが続きません。担任は、子ども達の遊びの様子を見ながら「こんなのが欲しいな」「ここに隠れるものが欲しいんだけど」「ねらった所になかなか入らないなあ・・・」といった子ども達の願いが実現するように新しい環境を準備したり、どんな材料が必要か一緒に探したり、困り感に寄り添ってヒントを出したりしています。そうすると子ども達は、自分達のイメージを広げたり、考えたり、工夫したりして、「また遊ぼう」「次はこうしてみよう」という意欲が繋がっていきます。遊びながら「あっ、こんなのも必要だね」「〇〇があったらもっと楽しそう」と、遊びながら必要な物を作ったり友達と相談したりして、遊びはさらに楽しくなっていきます。どのクラスも楽しく続けている遊びが、これから少しずつ生活発表会へと繋がっていきます。しっかりと遊んだことをおうちの人に見てもらおう成長の機会です。どんな発表につながっていくのか、とても楽しみです。

15日・16日と、それぞれクラスの遊びに他クラスの友達を招待しました。廊下を通るときに横目で「楽しそうだな」と見ていた遊びができることあって、子ども達は大喜びです。特に、年少組へ遊びに来た年長・年中児が本当に楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。お店屋さんごっこや乗り物ごっこをしています。買い物などでお店でのやり取りを見たり経験している年長・年中児がお店の人になり切ると、まるで店長さんのようでした。そのリアルな動きを見て、年少児もまた遊びが広がっていくでしょうね。